

新田平見道、富山平見道、飛渡谷、清水峠

世界遺産追加登録！！ 「紀伊山地の霊場と参詣道」

平成28年10月24日に開催されたユネスコ世界遺産委員会臨時総会において、当町の「大辺路」4道(新田平見、富山平見、飛渡谷、清水峠)が、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に追加登録されました。



●世界遺産の追加登録箇所は下記のとおりです

熊野参詣道 大辺路 4地点	1,146m	
新田平見道 (にったひらみみち)	227.1m	串本町和深
富山平見道 (とみやまひらみみち)	209.9m	串本町田子
飛渡谷道 (とびやたにみち)	387.3m	串本町田並
清水峠 (しみずとうげ)	321.7m	串本町田原

●登録記念イベント

イベント	場所	期間	主催
パネル展示	JR串本駅構内	10月27日から	串本町産業課
ウォークイベント	町内追加登録地	11月5日	串本町観光協会
パネル展示	串本町文化センター	11月20日～11月23日	串本町教育委員会
講演会	串本町文化センター	11月23日	串本町教育委員会



熊野古道・大辺路を歩く

熊野古道

串本町の海岸に沿うように、熊野古道・大辺路が延びています。大辺路というのは、いにしへの熊野三山(熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社)へのルートの一つで、田辺から南下して海沿いを那智・浜の宮へと至る約92kmの道を指します。串本町の熊野古道・大辺路は和深から那智勝浦町との町境にあたる清水峠までの約30kmで、全ルートをウォーキングするならばほぼ2泊3日の行程になります。

JR和深駅をスタートするのが一般的で、古道ルートは海岸段丘の平見を越えて海岸へ下り集落をめぐり、国道42号に沿うように延びています。石壁を残す新田平見道や富山平見道、飛渡谷道は昔の面影を残す道が迎えてくれます。古道を包む照葉樹林とともに、いにしえをしのびながら爽快な気分が歩くことができます。古道ルート沿いの磯や砂浜がありなすダイナミックな大地の営みは南紀熊野ジオパークの見どころでもあります。磯の香り、貝殻やサンゴの浜、吹き抜ける風を感じ古道ルートをさらに歩き、JR串本駅あたりで宿をとり、一日の疲れを癒してください。

2日目は、JR串本駅からさらに東へと進みます。砂浜に沿っていくと、国の名勝・天然記念物である橋杭岩がさまざまな姿で目を惹かせてくれます。ここから山側の熊野川へと下り、古道を経て国道42号へと下り、JR姫駅から旧国道を辿ってJR古座駅手前で宿をとるのがおすすめです。

3日目は、JR古座駅から古座川を渡り、川に沿った古座街道から大辺路に入り、海に沿って進みます。海霧で名高い田原まで海岸の磯道を辿っていきます。JR田原駅から北東に進み、湿地帯に沿った遊歩道を歩き、町境から少し山側へ入ると清水峠にたどりつきます。

海の景色や古道の佇まいだけでなく、大辺路のあちこちには、地蔵尊や古い石の道標なども数多く点在しています。また、訪れた人が歩きやすいよう、地元ボランティアなどにより、古道の修復も行われていますので、ぜひ大辺路の魅力を感じるウォーキングを楽しみに串本町を訪ねてください。